



Hiroshima
University
Institutional
Repository

プロフィール

2006.4 試験公開
2006.10 正式公開

担当：
学術情報リポジトリ担当
ソフトウェア：
E-Repository

主な活動：
定期的な論文依頼
学内アドバイザ制度
「著作権Q&A」の刊行

高頻度閲覧コンテンツ (2009年)

- ・化学ポテンシャルと平衡定数
- ・改良Zancolli分類による頸髄損傷者のADL自立の可能性
- ・衝突頻度と平均自由行程
- ・磁気モーメントとg値
- ・順序尺度データにおける多様な多重比較法
- ・精神分裂病女性患者の体内水分量に関する研究：バイオインピーダンス法による測定
- ・La Commedia dell'arte et le théâtre de Marivaux
- ・広島大学医学部保健学科創立10周年記念講演 ICF:国際生活機能分類と21世紀のリハビリテーション

- ・Zonell屈筋腱断裂修復後の後療法の特徴に関する一考察：3週間固定法とKleinert変法の経時的関節可動域の比較



CONTACT

広島大学図書館
学術情報リポジトリ担当

tosho-seibi-repo@
office.hiroshima-u.ac.jp

TEL : 082-424-6228
FAX : 082-424-6221

広島大学学術情報リポジトリ

広島大学図書館

平成20年度成果

1. コンテンツ収集・登録

(1) 雑誌論文・紀要論文

Web of Scienceから最新論文を抽出し、著者へ提供依頼を行った。また、人文社会・教育科学系の7つの研究科・センターに在籍している研究者の国内学術雑誌論文および学内紀要論文を体系的に調査し、著者・出版社・学協会へ許諾確認を行った。

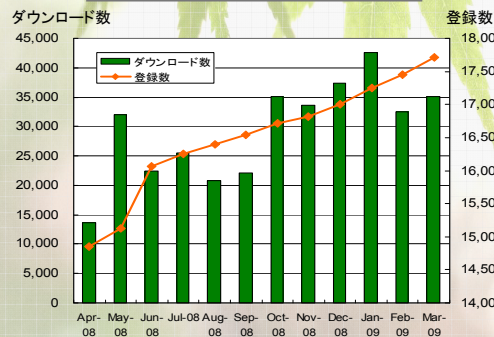
(2) 研究報告書

平成10-11年度および平成20年度の科学研究費補助金報告書について、著作権の調査、著者への許諾依頼・電子化・登録を行った。

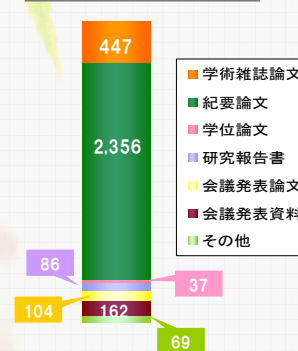
(3) 博士論文

平成19年度学位取得者230人について、著作権の調査、著者への許諾依頼・電子化・登録を行った。また、生物科学圏研究科が修士論文・博士論文のリポジトリ登録を原則義務化した。

H20年度コンテンツ登録数・ダウンロード数



H20年度登録コンテンツ内訳



2. 研究者へのヒアリングをもとに機能を追加

研究・教育活動に貢献するための機関リポジトリの活用方法の検討

学内の研究者に機関リポジトリの活用方法について聞き取り調査を行い、要望にもとづいたシステムの機能追加およびウェブサイトの改修を行った。

研究者からの要望

- ・論文リストからリポジトリの論文へリンクを張る時に、htmlタグを書くのが面倒。YouTubeのような埋め込みフォームを作ってほしい。
- ・研究室が行っている研究プロジェクトを紹介するページを作ってほしい。
- ・自分の業績の確認のために、出版年ごとに論文が並ぶようにしてほしい。

埋め込みフォームの作成



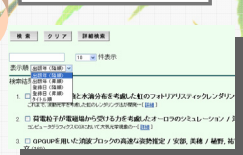
Bibliography

- 論文リストへ利用
- 1 梅垣 雅 王木 龍 吉田 和文 豊田 裕太 三浦 剛 木内 昌博
表示方法: 電子標記
Tomihagi, Kazufumi
Medical Diagnosis Unit
(2008 05)
 - 2 大塚 敏之 王木 龍 「E」
Vol.9(0)-No.8, pp200
2008
 - 3 王木 龍 鈴木 博 山本 正信 「腎臓病治療のための研究」
Vol.8(4)-No.10, pp2315-2327 (2008-10)

研究プロジェクトページの作成



出版年による並び替え



もっと研究者に近いリポジトリに

3. 他システムとの連携・付加価値の向上

- ・学内業績データベースへの入力支援を目的としたメタデータのエクスポート機能の追加
- ・業績データベース登録論文とリポジトリ登録論文のリンク方法の検討